

セッコクを見に行こう

高尾山

実施日 2012年5月24日(木)
 天候 晴れ
 リーダー 中村 友子
 参加者 服部美千代、佐藤金治、一柳昭、渋谷京子、中村友子、伊藤久雄、石原勝正、宇野輝代、関塚七海、徳山敬子、矢作多恵子、G(熊本) 計12名
 費用 720円(京王線新宿起算)
 タイム 高尾山口駅(9:55~10:50)大山橋(11:00~11:45)山頂(11:30~11:45)紅葉台手前(12:45~13:35)森の図書館(13:40~13:50)日影BS(13:50~15:00)JR高尾駅

天気は快晴。京王線高尾山口駅前の人の多さにビックリ。平日だと言うのに・・・何年か前の日祭日より多く感じた。ミシェランにおいて三ツ星山に決まったせいかな。老若男女それはそれは幅広く誰でも登ることが出来る山となっている。



こぶし会会員誰でも知っている山だが本日の目当てはセッコク。結論から述べると、残念ながら渓谷での自生のセッコクは次期が早く見ることが出来なかった。今年は6月初めの様だ。だがケーブル脇にあるセッコクは満開、幾年か前、



台風で落ちてしまった物を移植したとの事。手短に見る事が出来てありがたい。のんびり楽しみながら歩く事を伝え、ケーブル乗場の左から琵琶滝迄進み6号路を選択、素晴ら

しい新緑とシャガの咲き乱れる道を30分余り進むと自生のセッコクを見ることが出来る場所に着く。見上げ探している人や立ち止まっている人はいない。

小学生の団体や幾つかのグループが我々を追い越して行った。少し進んで大山橋で休憩。この場所もその時期には見ることが出来る。頂上手前の少しハードな階段を登り切り右に少し進むと今春から使用できるようになった2階建てトイレに突き当たる。2階は女子専用となっているがまだ使用不可。山のトイレとは思えないほど素晴らしい。

頂上では先ほど追いついて行った小学生の団体、又1号路を登って来た幼稚園生等大勢で食事場所が見つからず、紅葉台や手前で昼食。



帰路は少しバックしていろはの道、森の図書館へと下った。午前の道とは打って変わり静かな山らしい急坂な登山道で2,3人の登山者に出会っただけだった。森の図書館は今年4月22日に原因不明の全焼火災



に逢いまだ焦臭い匂いがしていた。

全員バスには乗らず15分程舗装道路を歩きその後小仏川沿いを高尾駅まで歩いた。途中一般家庭の庭先で沢山の満開のセッコクにしばし目が釘付けとなり歓喜をあげた。さぞかし維持は大変だろうと想像する。



15時到着、早目の楽しい反省会となり本日の行程無事終了となった。

(記・中村 友子)

(写真提供・伊藤 久雄)